安心の設計

介護、医療、子育て、老後
るご意見・疑問をお寄せ
メールansin@yomiuri.co
ファクス03・3217・9957

介護のキホン 4 訪問入浴・リハビリ・看護

看護師ら 専門的サービス

介護保険には、前回（5月25日掲載）紹介した訪問介護のほかにも、自宅で受けられるサービスが用意されています。今回は、入浴の支援やリハビリの提供などについてお伝えします。

浴室で背中を流すなどの介助なら、訪問介護で対応できます。車いすの利用者や寝たきりの人など、自力でお風呂に入れない場合に利用を考えたいのが「訪問入浴」です。看護師ら3～4人のスタッフがポータブルの浴槽や防水マットなどを利用者宅に運び込み、体や髪を洗ってくれます。

浴槽を設置するため、1畳半～2畳程度のスペースが必要です。入浴の前後に、体温や脈拍などのチェックを必ず行います。入浴は気持ちの良いものですが、体への負担もあるためです。

貯水タンクやボイラーを備えた専用車両で訪問し、給水・給湯を行うことが多いようです。マンションの場合、台所から給水することもあります。主にトイレや浴室に排水します。

訪問入浴サービスの利用者は約6万5000人（2019年4月現在）。その約9割が介護の必要性が高い「要介護3」以上です。

訪問入浴大手のアースサポート（東京都渋谷区）によると、所要時間の目安は約40分。週2回ほど利用する人が多いそうです。森山典明社長が「入浴は生きる意欲を高めることにもつながります」と説明するように、このサービスには、QOL（生活の質）を高める効果も期待されています。

◆各サービスのポイントと自己負担額

訪問入浴	●主に看護師が入浴前に健康状態を確認 ●浴槽や防水マットは事業者が持ち込む ●利用できるのは要介護1～5の人（病気などの事情がある場合、要支援1～2でも利用可）	約1300円（1回あたり）
訪問リハビリ	●理学療法士や作業療法士が利用者の自宅でリハビリを支援 ●安全な生活環境を整えるため福祉用具の利用も提案	約300円（同）
訪問看護	●看護師らが24時間365日対応する ●かかりつけ医の指示書に基づき点滴や服薬の管理などを行う	約300～1100円（所要時間などで変わる）

※金額は目安で、自己負担が1割の場合。手厚いサービスを受ける場合や居住地域によっては金額が上がる

持ち込んだ専用の浴槽で高齢者の頭を洗う訪問入浴のスタッフ（アースサポート提供）

◇

次は「訪問リハビリ」です。「骨折は治ったけれど、階段の上り下りがつらい」「うまく動かなくなり、調理に苦労している」――などの状況を改善したい場合、検討してみましょう。

理学療法士や作業療法士などの国家資格を持った専門職が、利用者が日々の生活で直面する困りごとを見極めて、その解決のため自宅でリハビリを支援します。サービスを提供できるのは、原則として常勤の医師がいる病院や診療所、老人保健施設、介護医療院に限られます。

理学療法士は主に、手足の曲げ伸ばしや筋力強化などを訓練します。作業療法士は主に、調理や洗濯などに必要な動作に着目してメニューを組み立てます。

たいとう診療所（東京都台東区）の理学療法士、伊藤直人さんは「座ったままできる体操など、毎日1人でも続けられるリハビリを提案しています」と話します。

訪問リハビリでは、安全に暮らせる生活環境を整える観点から、手すりの設置、杖（つえ）などの福祉用具の利用を提案することもあります。

◇

自宅で暮らす高齢者に床ずれの手当て、服薬や点滴の管理などを行うのが「訪問看護」です。かかりつけ医の指示に基づき、看護師や保健師らが担当します。

体調の急変時などに24時間対応をしてくれるところもあります。訪問看護ステーションわっか（東京都台東区）の看護師、浜屋健司さんは「自宅での看取（みと）りまで支えるのがこのサービスの使命です」と話しています。（板垣茂良）

＊次回は29日に掲載予定です。